

3年	課題（現状、傾向、課題分析）	改善プラン（改善のための具体策や取り組み）	成果と課題
国語	・既習漢字の定着を図る必要がある。 ・文章の要点をつかんで読んだり、考えを分かりやすく表現したりすることに課題がある。	・新出漢字の画数や字形について、小テストで実態を把握し、間違えた漢字の練習や再テストをして定着を図る。学期中2回のまとめテストでも再度復習を行う。 ・キーワードに注目しながら読むよう促し、要点やあらすじをつかむ経験を繰り返す。書いた文章を読み直す習慣を付けたり、ペアやトリオで読み合って友達の文章を推敲する経験を積んだりする。また、国語辞典を使うことで語彙を増やし、表現に生かすようにしていく。	
社会	・地図上での位置関係を四方位を使って表すことに課題がある。 ・課題に対して、適切に資料を読み取る力を付ける必要がある。 ・調べたことをまとめて分かりやすく表現する力を伸ばしていく必要がある。	・教室の四方位が分かるように掲示をする。それを生かし方位の見方を身体の向きなどで体感的に繰り返し学習する。 ・学習計画に立ち返り、資料のどこに着目するかを学級で確認する機会を積み、資料読み取りの力を養う。 ・具体例を挙げたり、児童同士で見合い話し合う場を設定したりして、分かりやすく表現する力を養う。	
算数	・九九やわり算などの計算技能の定着、時刻や時間の計算や長さの単位換算について課題がある。 ・文章問題を読み取り立式し、自分の考えを表現できるようにしていく必要がある。	・単元学習後も定期的に練習問題に取り組み、確実な知識と技能の習熟を図る。 ・図や具体物で視覚的に表すなどの支援を行い、問題文の「分かっていること」と「求めること」を明確にし、図や数直線、言葉などを用いて考えを表現するようにしていく。	
理科	・既習事項の定着に手だてを講じる必要がある。 ・問題、予想、計画、実験、結果、考察の流れを定着させる必要がある。	・繰り返し理科の用語を確認することで、既習事項の定着を図り、適切に事象を表現する力を養う。 ・問題に立ち返り、目的をもって実験を行うようにする。また、結果から自分の力で考察する活動を授業時間内で必ず行い、流れの定着を図る。	
音楽	・音色や拍の流れ、旋律の動きなどを聴いて捉え、言葉で表現することに課題がある。 ・曲想を表す語彙を増やす必要がある。 ・思いや意図をもって表現するために必要となる基礎的な技能を身に付けるために、手だてを講じる必要がある。	・音楽を聴いてリズムを手拍子したり、旋律を体で表現したりしながら、聴き取ったことや感じ取ったことを言葉で表す活動を積み重ねる。 ・聴き取ったことと感じ取ったことを関連付けて、自分の考えをペアやグループ、全体で伝える活動を繰り返し行う。 ・自然で無理のない声で歌ったり、拍やリズム、フレーズを感じて演奏したりする体験を積み重ね、ペアやグループで歌や演奏を聴き合いながら、表現の技能を伸ばしていく。	
図工	・題材、めあてに即した工夫を考えられるような手だてを講じる必要がある。 ・新しい材料や描画材に親しみ、自分の思いを表現する力を育てる必要がある。 ・最後まで粘り強く取り組み、作品をよりよくしようとする意欲を育てる必要がある。	・個々の課題や特性に合わせて言葉をかけることで、基礎基本の定着を図る。 ・単元の前半に造形遊び等を取り入れ、新しい材料や描画材に慣れ親しむ時間を確保する。 ・授業の進行に合わせて、友達の作品や新たな材料を示すことで、最後まで工夫しながら活動に取り組めるようにする。	
体育	・個人やチームに合っためあてを立てたり、めあてを解決するための学習を選んで取り組んだりすることに課題がある。 ・ゲームの結果から、作戦を立てて工夫する力を伸ばしていく必要がある。	・ペアやトリオでの学習を設定することで自分の課題を知り、学習カード等を活用して確認できるようにする。また、様々な手だてを用意し、適切な場を選択する経験を積む。 ・作戦を考える時間と、その作戦の有効性を振り返る時間を確保する。また、評価項目を立て、児童が的確に振り返ることができるようにする。	